

小児慢性特定疾病医療費助成制度における

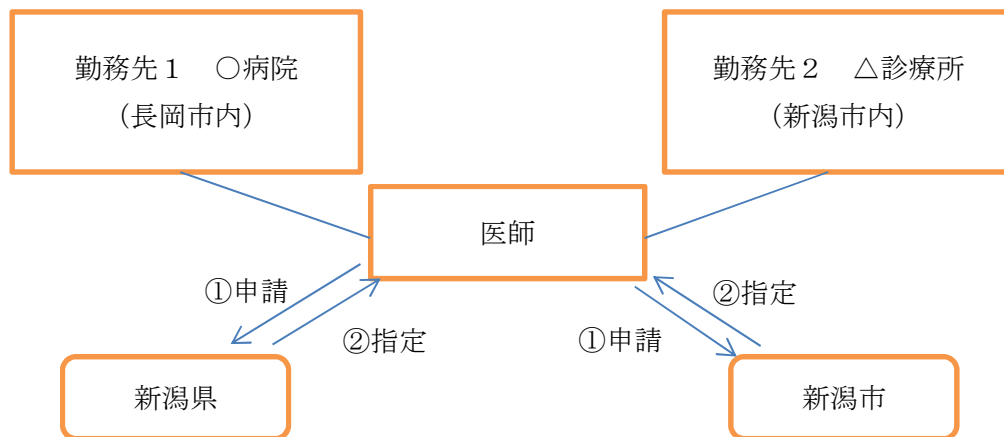
指定医の申請をお願いします

新潟県福祉保健部健康対策課

- 平成 26 年 5 月 30 日に「児童福祉法の一部を改正する法律」（以下「法」といいます。）が公布され、平成 27 年 1 月 1 日から新たな小児慢性特定疾病医療費助成制度が始まりました。
- 医療費助成の申請書に添える医療意見書を作成することができるのは、知事等の指定を受けた指定医のみとなります。
※なお、知事の指定を受けた医療機関等（指定小児慢性特定疾病医療機関）であれば、指定医でなくても医療を行うことはできます。
- 指定医になるには、申請が必要になります。申請先は、勤務先の医療機関の所在地を管轄する都道府県知事・指定都市市長・中核市市長です。

申請のイメージ

例：一人の医師が長岡市及び新潟市にある 2 つの医療機関に勤務している場合
→新潟県及び新潟市への申請が必要です。



指定医の指定にあたっては、各都道府県・指定都市・中核市ごとに申請が必要です。
複数の県等の医療機関に勤務している場合は、それぞれの自治体に申請してください。

※申請手続きの詳細は裏面をご覧ください。

1 指定医の申請手続等

(1) 申請手続

必要書類を下記の「申請書提出先」あてに提出してください。

【必要書類】①小児慢性特定疾病指定医指定申請書（様式第1号）

②経歴書（様式第2号）

③医師免許証の写し

④以下のいずれかの書類

- ・専門医に認定されていることを証明する書類の写し
- ・新潟県指定医研修修了証交付依頼書
- ・指定医研修受講済申出書及び指定医研修受講を証明する書類の写し

【申請書提出先】 〒950-8570 新潟市中央区新光町4-1

（県庁専用郵便番号のため、住所の記載は不要）

新潟県福祉保健部健康対策課母子保健係 あて

(2) 留意事項

ア 指定後、新潟県から申請者宛てに指定通知を送付します。

イ 指定を行った医師の氏名、勤務先の医療機関名、担当する診療科名等新潟県ホームページへの掲載等により公示します。

ウ 指定の有効期間は5年間です。

2 指定医の要件・職務

(1) 要件

以下のいずれかの要件を満たす医師であること。

ア 疾病の診断又は治療に5年以上（※1）従事した経験があり、関係学会の専門医（※2）の認定を受けていること。

イ 疾病の診断又は治療に5年以上（※1）従事した経験があり、都道府県等が実施する研修を修了していること（※3）。

※1 医師法（昭和23年法律第201号）に規定する臨床研修を受けている期間を含む。

※2 厚生労働大臣が定める認定機関が認定する専門医の資格であること（P3参照）。

※3 新潟県では指定医研修をweb研修として実施しています。受講を希望される方は、新潟県ホームページ内「新潟県小児慢性特定疾病指定医研修について」に掲載の手順に添って受講願います。

(2) 職務

ア 小児慢性特定疾病の医療費助成の支給認定申請に必要な診断書（医療意見書）を作成すること。

イ 患者データ（医療意見書の内容）を登録管理システムに登録すること。

お問い合わせ先
健康対策課母子保健係
電話 025-280-5197

厚生労働大臣が定める認定機関が認定する専門医の資格
(平成 26 年厚生労働省告示第 465 号)

認定機関	専門医の資格	認定機関	専門医の資格
日本内科学会	総合内科専門医	日本専門医機構	総合内科専門医
日本小児科学会	小児科専門医		小児科専門医
日本皮膚科学会	皮膚科専門医		皮膚科専門医
日本精神神経学会	精神科専門医		精神科専門医
日本外科学会	外科専門医		外科専門医
日本整形外科学会	整形外科専門医		整形外科専門医
日本産科婦人科学会	産婦人科専門医		産婦人科専門医
日本眼科学会	眼科専門医		眼科専門医
日本耳鼻咽喉科学会	耳鼻咽喉科専門医		耳鼻咽喉科専門医
日本泌尿器科学会	泌尿器科専門医		泌尿器科専門医
日本脳神経外科学会	脳神経外科専門医		脳神経外科専門医
日本医学放射線学会	放射線科専門医		放射線科専門医
日本麻酔科学会	麻酔科専門医		麻酔科専門医
日本病理学会	病理専門医		病理専門医
日本臨床検査医学会	臨床検査専門医		臨床検査専門医
日本救急医学会	救急科専門医		救急科専門医
日本形成外科学会	形成外科専門医		形成外科専門医
日本リハビリテーション医学会	リハビリテーション科専門医		リハビリテーション科専門医
日本消化器病学会	消化器病専門医		消化器病専門医
日本循環器学会	循環器専門医		循環器専門医
日本呼吸器学会	呼吸器専門医		呼吸器専門医
日本血液学会	血液専門医		血液専門医
日本内分泌学会	内分泌代謝科(内科・小児科・産婦人科)専門医		内分泌代謝科(内科・小児科・産婦人科)専門医
日本糖尿病学会	糖尿病専門医		糖尿病専門医
日本腎臓学会	腎臓専門医		腎臓専門医
日本肝臓学会	肝臓専門医		肝臓専門医
日本アレルギー学会	アレルギー専門医		アレルギー専門医
日本感染症学会	感染症専門医		感染症専門医
日本老年医学会	老年病専門医		老年病専門医
日本神経学会	神経内科専門医		神経内科専門医
日本消化器外科学会	消化器外科専門医		消化器外科専門医
日本胸部外科学会	呼吸器外科専門医		呼吸器外科専門医
日本呼吸器外科学会	心臓血管外科専門医		心臓血管外科専門医
日本胸部外科学会	小児外科専門医		小児外科専門医
日本心臓血管外科学会	心臓血管外科専門医		リウマチ専門医
日本血管外科学会	小児循環器専門医		小児循環器専門医
日本小児外科学会	小児外科専門医		小児神経専門医
日本リウマチ学会	リウマチ専門医		小児血液・がん専門医
日本小児循環器学会	小児循環器専門医		周産期専門医
日本小児神経学会	小児神経専門医		婦人科腫瘍専門医
日本小児血液・がん学会	小児血液・がん専門医		生殖医療専門医
日本周産期・新生児医学会	周産期(新生児)専門医		頭頸部がん専門医
	周産期(母体・胎児)専門医		放射線治療専門医
日本婦人科腫瘍学会	婦人科腫瘍専門医	放射線診断専門医	
日本生殖医学会	生殖医療専門医	手外科専門医	
日本頭頸部外科学会	頭頸部がん専門医	脊椎脊髄外科専門医	
日本放射線腫瘍学会	放射線治療専門医	集中治療専門医	
日本医学放射線学会	放射線治療専門医		
日本医学放射線学会	放射線診断専門医		
日本手外科学会	手外科専門医		
日本脊髄外科学会	脊椎脊髄外科専門医		
日本脊椎脊髄病学会	脊椎脊髄外科専門医		
日本集中治療医学会	集中治療専門医		